

農作物を知る レポート

今回の講義を聞き、福島県の農業の現実や、除染の方法について詳しく学ぶことができた。そして我々にもできる福島県の農業の再生について考えてみた。

まず第一に、私には特に農業技術もなく、現地に赴くことも難しいのでできることは、福島県産の農作物を積極的に買っていくことだと思う。現在福島の野菜は、政府の検査で汚染されていないと判明していても、買い手は幼児や子供への健康的な影響を考えて控えることが多い。また海外に輸出する際も、韓国や台湾では輸入禁止となっていて、なかなか厳しい現実を抱えている。私たちが食べないものを海外に人に買ってもらおうと言うのは当然難しい話である。最近では首相が現地でPRをしていたりして、回復を見せているようだ。これ以上耕作放棄地を増やし、農業離れが進むとますます復興が難しくなるので、積極的に福島を含む東北の農産物を買っていきたい。

第二に、土壌の完全な除染が難しければ、野菜工場や水耕栽培、IT技術を用いた新しい農業ビジネスを考えそれらを農業従事者に提案していくといった考え方もできると思う。工場を作れば、室内で栽培が行われるため、放射能の問題は、屋外の場合と比べ比較的改善されていくと思う。あと山村に雇用を産み出すこともできる。そこで得られた利益を除染や事業の拡大に使っていけばなおさらよいのではないかな。あと最近まで立ち入り禁止区域になっていた地区では、野性動物が増えすぎて、獣害に悩んでいると聞く。駆除をまずしなければ農業どころではないだろう。せつかくなので、そこで駆除した猪や鹿などの食肉加工施設も作ってあげればよいのではないかなと思う。最近、ジビエ料理もはやっているのでちょうどよいのではないだろうか。

最後に、私たちが農業の再生に貢献するためには、まずは現地について、現状をこの目で見なければいけないと思う。なぜならば、新聞やテレビによって伝えられる福島県の現状は、原発問題という非常に政治的なファクターをはらんでおり、中立的な立場で伝えることが難しいからである。実際に見ないと'アンダーコントロール'なのかわかりません(笑)汚染廃棄物の問題もあって農業の再生は後回しにされてきているので、まずはこれらのことを実践して、その再生の後押しができればよい。